

NY マーケットレポート (2016 年 10 月 19 日)

NY 市場では、序盤に発表された米住宅着工件数が、2015 年 3 月以来の低水準となったものの、着工件数の先行指標とされる建設許可件数が 2015 年 11 月以来の高水準となるなど、まちまちの結果となったことから、相場への影響は限定的となった。その後は、米大統領選の候補者討論会や ECB 理事会、EU 首脳会議などのイベントを控えて様子見ムードも強まり、限定的な動きが続いた。その中で、原油価格が在庫統計の結果を受けて 1 年 3 カ月ぶりの高値まで上昇したことが好感され、豪ドルなどの資源国通貨は堅調な動きとなった。ただ、同じ資源国通貨のカナダ・ドルは、今年と来年のカナダの経済成長率の見通しが下方修正されたことを受けて、軟調な動きとなった。

2016年10月19日 (水)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	103.53	103.96	103.42
EUR/JPY	113.78	114.16	113.63
GBP/JPY	127.19	127.90	126.99
AUD/JPY	79.33	79.84	79.27
EUR/USD	1.0991	1.1000	1.0973

LONDON	高値	安値
USD/JPY	113.58	113.27
EUR/JPY	113.85	113.41
GBP/JPY	127.57	126.91
AUD/JPY	79.54	79.29
EUR/USD	1.1005	1.0972

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	103.44	103.51	103.19
EUR/JPY	113.48	113.52	113.13
GBP/JPY	127.03	127.32	126.63
AUD/JPY	79.83	79.90	79.16
NZD/JPY	74.73	74.84	74.38
EUR/USD	1.0972	1.0981	1.0955
AUD/USD	0.7718	0.7730	0.7669

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	18202.62	+40.68
S&P500	2144.29	+4.69
NASDAQ	5246.41	+2.57
日経225 (CME)	16985	+40
トロント総合	14840.49	+88.25
ボルサ指数	48492.61	+386.49
ボエスバ指数	63505.61	-276.60

10/20 経済指標スケジュール

08:50	【日本】10月対内外証券投資
09:30	【オーストラリア】3Q NAB企業信頼感指数
09:30	【オーストラリア】9月失業率
09:30	【オーストラリア】9月雇用者数
09:30	【オーストラリア】9月労働参加率
14:30	【日本】9月東京地区百貨店売上高
14:30	【日本】9月全国百貨店売上高
15:00	【スイス】9月貿易収支
15:00	【日本】9月工作機械受注
15:00	【ドイツ】9月生産者物価指数
16:00	【日本】9月コンビニエンスストア売上高
16:30	【スウェーデン】9月失業率
17:00	【欧州】8月経常収支
17:30	【香港】9月消費者物価指数
17:30	【英国】9月小売売上高指数
20:00	【トルコ】政策金利発表
20:45	【欧州】政策金利発表
21:30	【米国】新規失業保険申請件数
21:30	【米国】失業保険継続受給者数
21:30	【米国】10月フィラデルフィア連銀景況指数
23:00	【米国】9月中古住宅販売件数
23:00	【米国】9月景気先行指標総合指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1269.90	+7.00
NY 原油	51.60	+1.31
CME コーン	357.50	+3.75
CBOT 大豆	981.50	+9.00

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.799%	0.803%
3年債	0.952%	0.957%
5年債	1.226%	1.229%
7年債	1.525%	1.530%
10年債	1.720%	1.745%
30年債	2.502%	2.509%

ドイツ10年債	0.030%	0.035%
英国 10年債	1.082%	1.080%

10/20 主要会議・講演・その他予定

- ・ EU首脳会議 (～21日)
- ・ ドラギECB総裁 定例会見
- ・ 米30年TIPS債入札

NY 市場レポート

21 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

9 月ポーランド小売売上高（前月比） -1.2%（予想 -0.3%・前回 0.8%）

9 月ポーランド小売売上高（前年比） 4.8%（予想 5.9%・前回 5.6%）

9 月ポーランド生産者物価指数（前月比） 0.3%（予想 0.2%・前回 -0.4%）

前回発表の-0.3%から-0.4%に修正

9 月ポーランド生産者物価指数（前年比） 0.2%（予想 0.2%・前回 -0.1%）



21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

9月米住宅着工件数 104.7万件（予想 117.5万件・前回 115.0万件）
前回発表の114.2万件から115.0万件に修正

9月米住宅着工件数（前月比） -9.0%（予想 2.9%・前回 -5.6%）
前回発表の-5.8%から-5.6%に修正

9月米建設許可件数 122.5万件（予想 116.5万件・前回 115.2万件）
前回発表の113.9万件から115.2万件に修正

9月米建設許可件数（前月比） 6.3%（予想 1.1%・前回 0.7%）
前回発表の-0.4%から0.7%に修正



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

《米住宅着工・許可件数》

	9月	8月	7月	6月	5月	4月
住宅着工件数	104.7	115.0	121.8	119.5	112.8	115.5
一戸建て住宅	78.3	72.4	76.9	76.3	73.7	76.4
集合住宅	26.4	42.6	44.9	43.2	39.1	39.1
許可件数	122.5	115.2	114.4	115.3	113.6	113.0
一戸建て住宅	73.9	73.6	71.1	73.8	73.1	74.1
集合住宅	48.6	41.6	43.3	41.5	40.5	38.9

前月比 (%)

住宅着工	-9.0	-5.6	1.9	5.9	-2.3	3.8
住宅建設許可	6.3	0.7	-0.8	1.5	0.5	4.9

9月の米住宅着工件数は、年率換算で前月比-9.0%の104.7万件となり、今年3月以来の大きな減少幅となった。件数ベースでは、2015年3月以来の低水準となり、11ヵ月ぶりに110万件的大台を下回った。前年同月比では-11.9%だった。

①一戸建て住宅が前月比+8.1%の78.3万件と2ヵ月ぶりの増加、集合住宅は-38.0%の26.4万件となった。

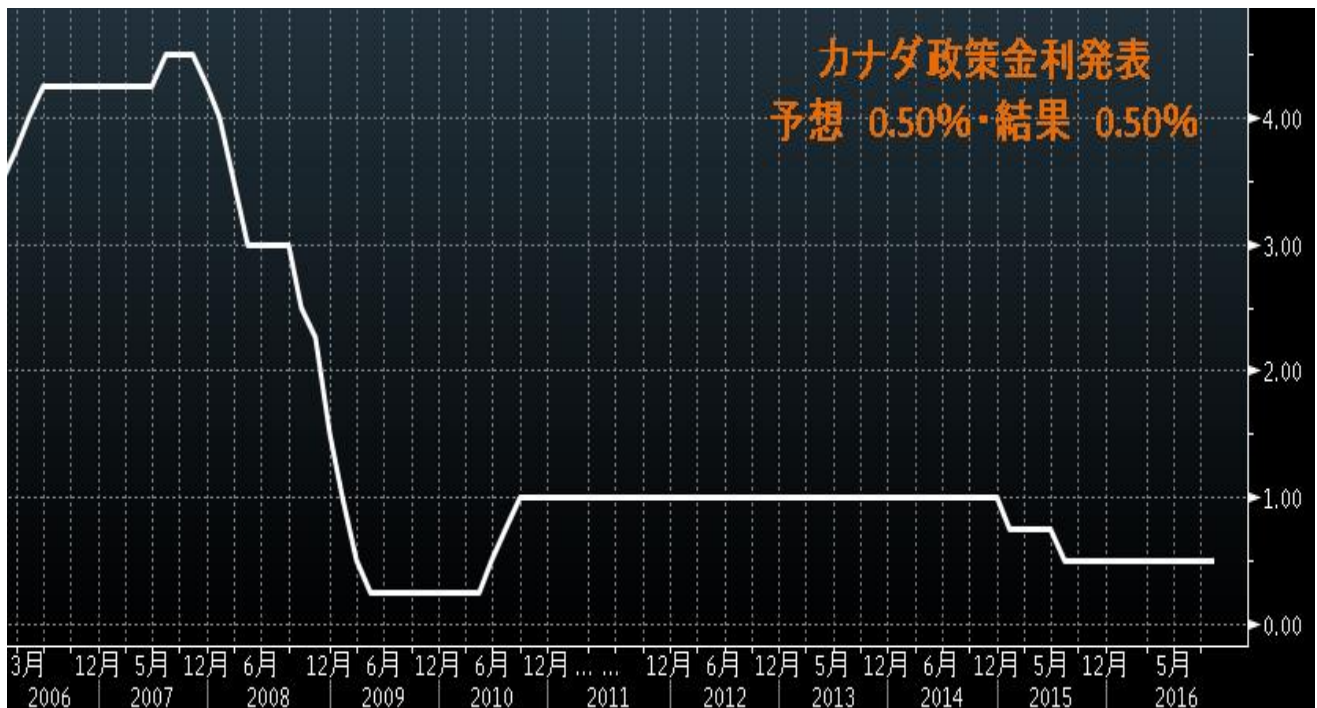
②地域別の動向では、北東部が-36.0%、中西部が-14.1%、南部が-5.3%、西部は横ばいだった。

③着工件数の先行指標とされる建設許可件数は、前月比+6.3%の122.5万件と2ヵ月連続のプラスとなり、前年同月比では+8.5%となった。

23:00

《 経済指標の結果 》

カナダ政策金利発表 0.50% (予想 0.50%・前回 0.50%)



出所：Bloomberg



《海外の話題》

メキシコ財務幹部協会は、米大統領選挙で民主党のクリントン候補が勝利すれば、メキシコペソは来年末時点で1ドル=18.0ペソに上昇する可能性があるとの見方を示した。エコノミスト調査では、今年末時点のペソの対ドル相場の予想中央値は18.90ペソだった。ただ、共和党のトランプ候補の勝利を前提とすると、公約の実現性について不透明感が強く予想が困難とした。トランプ候補は、メキシコとの国境での壁建設や、北米自由貿易協定の再交渉あるいは撤廃を表明しており、そのたびにペソ相場は不安定な動きとなっていた。



23 : 30

《EIA 米週間在庫統計》

原油在庫・・・525 万バレル減少
ガソリン在庫・・・247 万バレル増加
留出油在庫・・・124 万バレル減少

《欧州のポイント》

メイ・英首相は、EU 首脳会議に首相就任後初めて出席する。メイ首相は、保守党大会で EU 離脱に向けた交渉を来年 3 月末までに始めると表明し、移民流入制限と欧州司法裁判所からの離脱を目指す考えを示しており、首脳会議で EU 離脱計画について説明するとみられる。加盟国の首脳らは、メイ首相が英国民投票までは EU 残留派だったものの、EU 離脱にあたり EU の単一市場からの撤退も辞さない強硬姿勢に傾いたと受け止めており、会議での発言に注目している。

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、序盤は企業業績への先行き警戒感で売り優勢となったが、原油価格の上昇で投資家心理が改善し、プラスに転じる動きとなった。



出所 : Bloomberg

3 : 00

《 要人発言 》

カプラン・ダラス連銀総裁

- ・「2016 年末までに米 GDP 伸び率は回復へ」
- ・「コアインフレは強含んでいる」
- ・「労働市場のスラック(たるみ)は、以前よりもやや多い」

3 : 10

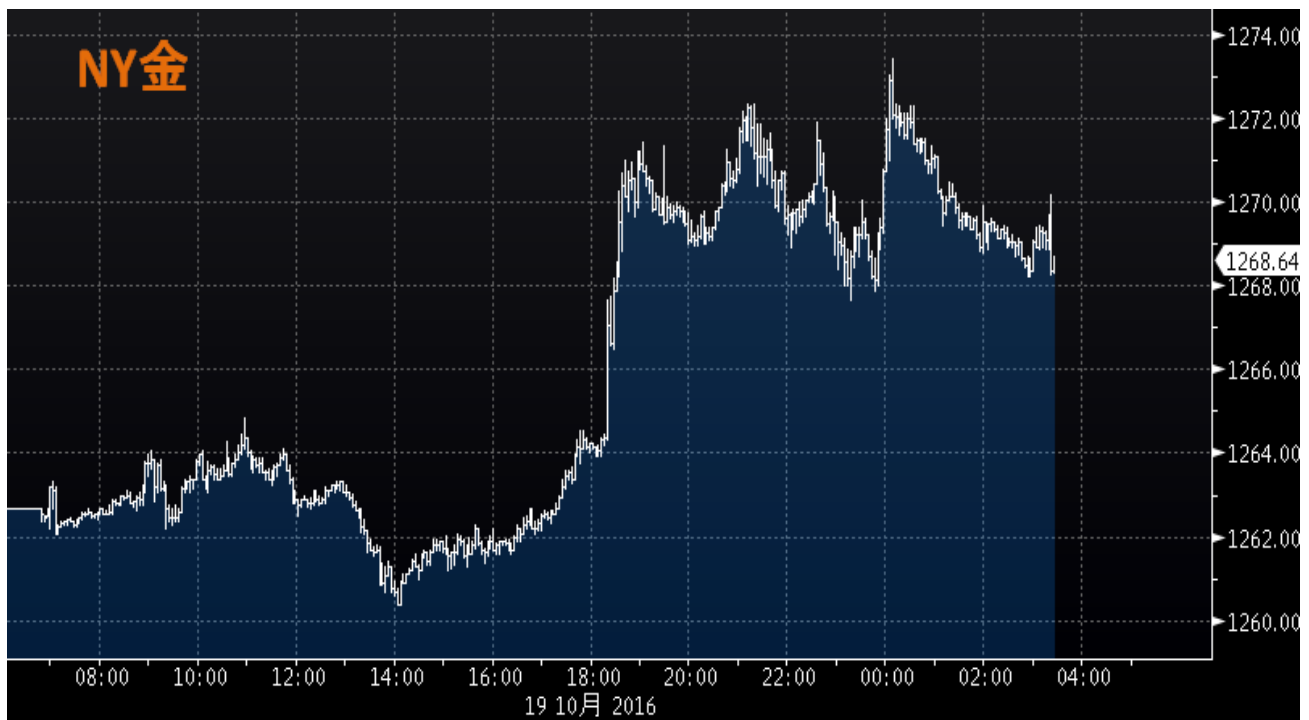
《米地区連銀経済報告》

- ・「雇用市場はタイト、見通しは大半で明るい」
- ・「賃金の伸びは緩やか、価格の上昇はわずか」
- ・「大半の地区が緩慢ないし緩やかな景気拡大ペースを指摘」
- ・「景気拡大は 8 月下旬から 10 月初旬にかけて継続」
- ・「製造業は強弱まちまち、ドル高で輸出は鈍化」
- ・「大半の地区が小売り向け支出の上向きを指摘」
- ・「住宅価格、引き続き緩やかなペースで上昇」
- ・「居住向け建設と不動産は加速」
- ・「商業用不動産活動と建設は改善」
- ・「石油・天然ガスセクターに安定の兆候」
- ・「選挙が経済の不確実性の原因との声も」
- ・「幾つかの地区は緩やかな成長を引き続き予想」

《 NY 金市場 》

NY 金は、中心限月が前日比 7.00 ドル高の 1 オンス=1269.90 ドルで取引を終了した。

NY 金は、ドルが円などに対して下落したため、ドルの代替資産とされる金を買う動きが優勢となった。また、前日発表された 9 月の米消費者物価指数でコア指数が市場予想を下回り、12 月の米追加利上げ観測がやや後退していることも引き続き支援材料となった。



出所：Bloomberg

《 NY 原油市場 》

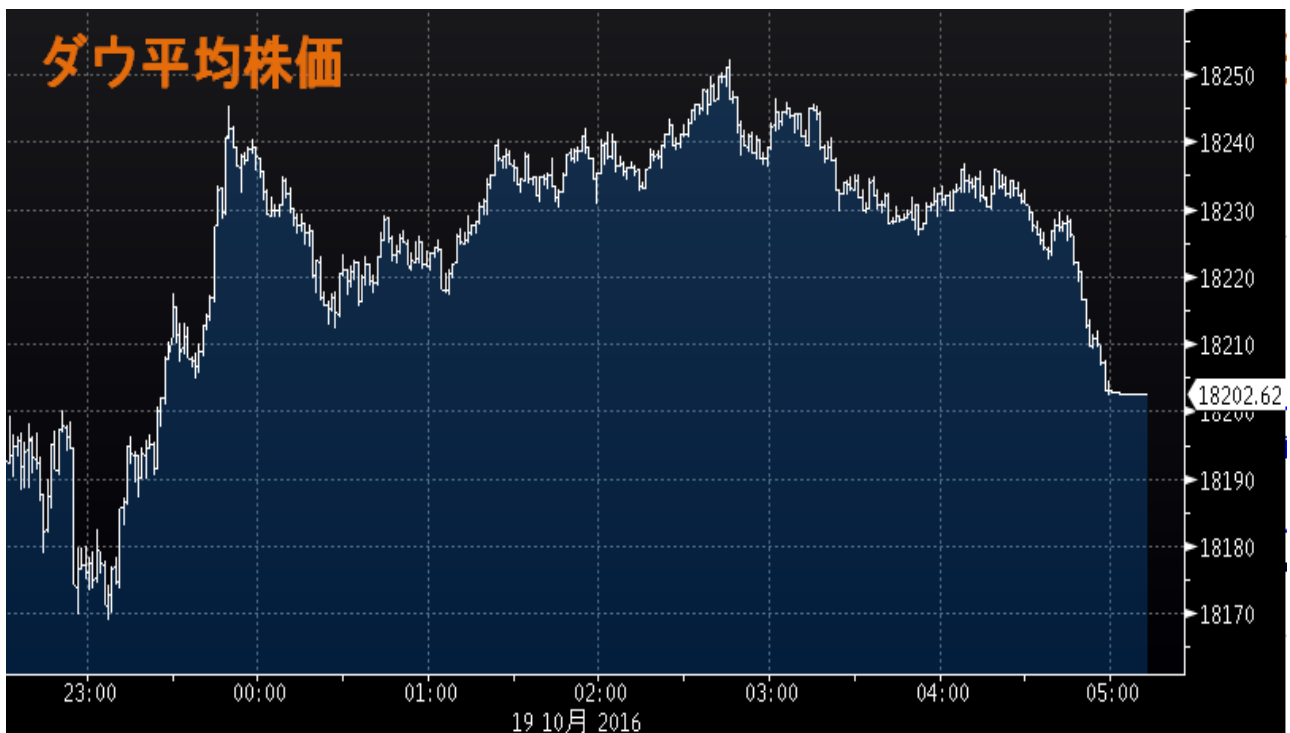
NY 原油は、中心限月が前日比 1.31 ドル高の 1 バレル=51.60 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、米石油統計で原油在庫が市場の予想に反して大きく減少したことから、需給の緩みに対する懸念が後退し、買い注文が優勢となった。終値ベースでは、昨年 7 月中旬以来約 1 年 3 ヶ月ぶりの高値となった。



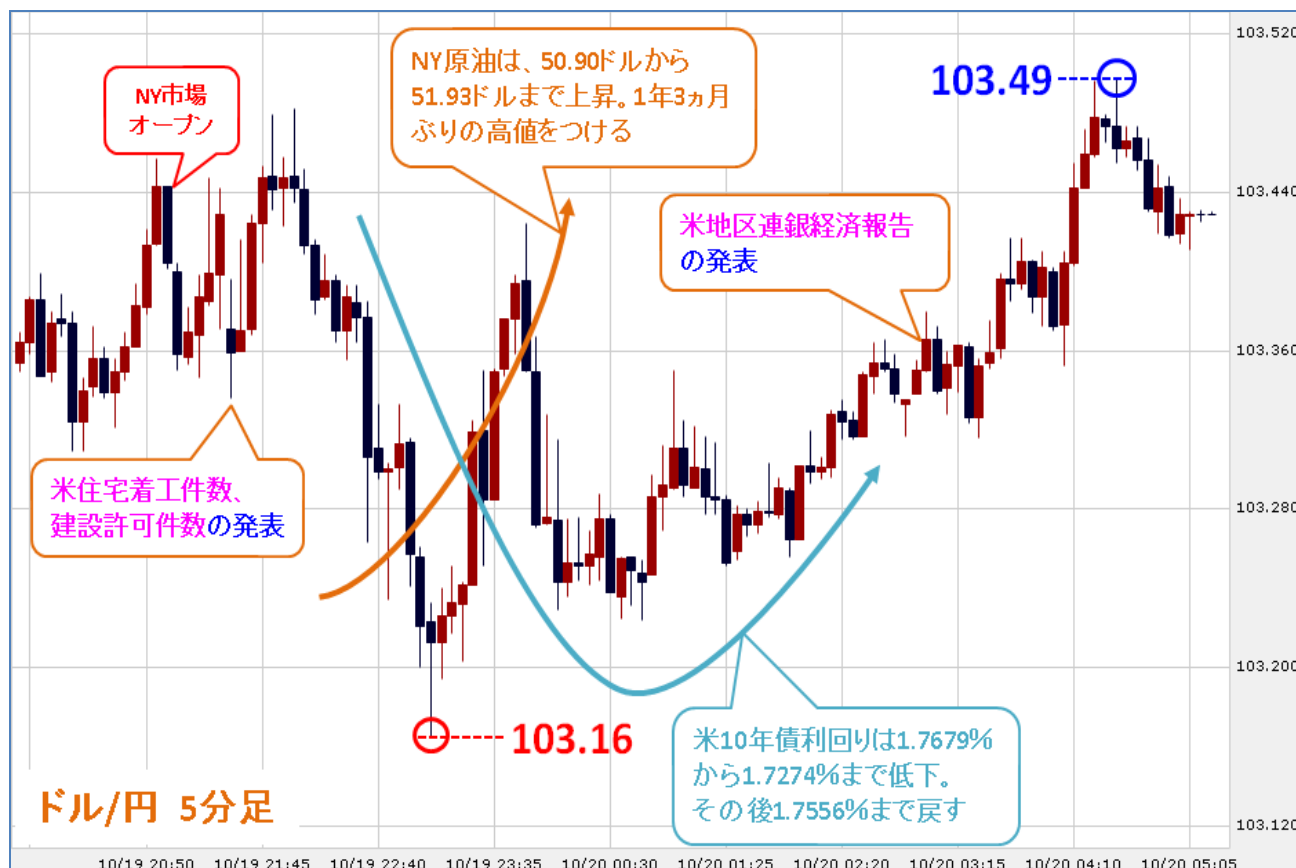
《米株式市場》

米株式市場は、原油価格が上昇したことで投資家のリスク回避姿勢が和らぎ、主要株価は序盤から堅調な動きとなった。ただ、米大統領選の第3回討論会を控えて様子見ムードも高まっており、上値は限定的となった。米ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比で90ドル高まで上昇したものの、その後は上値の重い動きが続いた。



《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤に発表された米経済指標がまちまちの結果となったことや、米債券利回りが低下したことを受けて、ドルはやや軟調な動きとなった。ただ、その後は欧米のイベントを控えて様子見ムードも強まっており、限定的な動きとなった。その中で、原油価格の上昇や米債券利回りが反転したことなどから、ドル円・クロス円は、引けにかけて底固い動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。